内外タイムス THE NAIGAI TIMES

5月28日 土曜日 27日発行 昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話(代表)京橋(56)8646 (直通)販売(〃)0437 廣告(〃)3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話(代表)芝(43)1163 東京 振替貯金口座 170071

第3109号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号)(中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・内政内警証報臺内台警字第0136号)

4版

今晩 北の風晴、一時曇 明日 北日中南寄りの風、晴

天気予報

【全国概況】北海道南東海上に低気圧があり、本州は高気圧におおわれている、本邦は大体晴だが北日本と西日本は雲が多い

あすの暦 5月28日・土 旧4月7日 日出 4.29 日入 6.48 月出 前11.04 月入 後11.58 満潮 前9.35 後11.15 干潮 前3.45 後4.00 (小潮)

英総選挙 保守党断然優勢

七、八十の差で大勝か

即日開票結果

【ロンドン廿七日発AP至急報=共同】英総選挙の開票は日本時間午前十時現在全選挙区の約半分近くを終了したが、保守党本部は党の勝利が確定したと発表した、一方労働党側は「奇蹟が起らない限り労働党の勝利はのぞめない」と保守党の勝利を認めた

【ロンドン廿七日発ロイター=共同】英総選挙の開票結果は日本時間廿七日午前十時四十五分現在六百卅一議席中三百四十三議席が判明したが、保守党百六十九議席、労働党百七十四議席となっているが、今までに判明した選挙区は労働党の地盤と目される所が多いので、労働党はこの辺で相当保守党を引離していなければ勝負にならない

今のところ労働党は前回の選挙で得た議席を既に十一も失い、保守党は新たに十二議席を獲得している、このまゝで行けば恐らく七、八十議席の差で保守党の勝利になることは確実視される、なお当選が決ったイーデン保守党々首の得票が前回に比べ増えているのに対しアトリー、ベヴァン氏らの労働党大物の得票が前回に比べ減っていることも、労働党の…物語っている

㊤保守党の本部を訪れたイーデン保守党々首夫妻(中央)㊦労働党本部を出るアトリー労働党々首(AP=共同電送)

英選挙開票速報

(党名)	(獲得議席数)	(即日開票)
保守党	一七六	
労働党	一七九	
自由党	二	
共産党	〇	
諸派	〇	
無所属	〇	
(下院議長)	(空席)	
計	三五七	六二五

【AP、UP、ロイター=共同】

両党首ら当選

【ロンドン廿六日発ロイター=共同】日本時間廿七日午前十時現在の主な当選者つぎのとおり

△保守党=イーデン(首相)チャーチル(前首相)カーペンター(運輸相)ロイド・ジョージ(内相)マクミラン(外相)

△労働党=アトリー(党首)サマースキル(全国執行委議長)ベヴァン(元保健相)カースル(ベヴァン派幹部)ジリアカス(同)シルヴァーマン(同)シール(同)ノエル・ベーカー(元英連邦関係相)ヤンガー(元国務相)

大きく響いた"左右"の内紛

労働党の敗因

浅沼右社書記長談 英労働党の敗北は大きな観点からすれば保守党が四巨頭会談を提案し、平和の担い手であるように国民にアッピールした、これに反し労働党は左右両派の対立が激化し、ベヴァン氏は復帰したもの党内にシコリを残した形で選挙戦を闘わねばならなかった、また平和確保への努力についても保守党にお株を奪われたことも大きく影響したものと思う

和田左社書記長談 労働党内左派のベヴァン氏の主張が通らず原、水爆、パリ協定反対の平和外交を明確に打出せず労働党本来の特色がボケたことが最大の敗因だ、しかしこの結果は労働党に反省を与え平和外交の立場が強くなり清新な強味を持つことになろう

絶対に応じられぬ

本予算案の組替え

政府与党 強硬態度を決定

政府与党は廿七日午前九時十五分から院内大臣室で首脳会議を開き卅年度本予算案の自由党組替案に対する態度を協議した結果、組替案には絶対に応じないとの態度を決定した

首脳会議は政府側から鳩山首相重光、松村、河野、大麻の各閣僚ならびに一万田蔵相、根本官房長官、党側から岸、三木、清瀬、砂田の四役が出席

まず清瀬政調会長から非公式に自由党から連絡のあった同党の組替案について政調会で分析した結果を報告、これを中心に政府与党の態度を検討したが、結局組替という形式には一切応じないとの態度を決定し、民自折衝は岸幹事長を中心に行うことをきめた、よって岸幹事長は同日行われる石井自由党幹事長との会見でこの旨を伝え、さらに自由党の出方を待って今後の折衝に対する態度を検討することになったが、首脳会議では松村、大麻氏らから自由党の出方によっては解散も辞さないとの強い意見も出たもようである

重大決意で原案通過に努力

岸幹事長談

民主党の岸幹事長は首脳会議散会後記者団と会見、次のように語った

一、自由党の組替案に対してはわが党の政調会で検討したが、その中で特に産業投融資公債に対しては修正にも補正にも形式を問わず応じられない、これは額の多少ということでなく、考え方そのものに容れられないものがあるからだ

一、政府与党はあくまでも強い意をもって原案の通過に努力することを申合せた

一、自由党との今後の折衝は四…に一任されたが、こちらから…の問題で幹事長会談を申入れることはしない、恐らく自由党から申入れてくると思う

「組替案」決定

自由党議員総会

自由党では廿七日午前十時過ぎから院内で両院議員総会を開き、廿七日の党首脳部会議で決定した卅年度本予算の組替案を正式に党議として決定し、同日中にも石井幹事長から岸民主党幹事長に提示して両党の折衝に入る

参院本会議

千島 南樺太 主権強く主張

首相答弁

廿七日の参院本会議は午前十時十五分開会、重光外相から発言を求め、前日の衆院本会議と同様、日ソ交渉についての政府の基本方針を説明、これに対する質問に入った

小滝彬氏(自) 一、昨年来の東西両陣営の接近傾向は西欧陣営の力の外交の勝利と思うが、首相、外相の判断を聞きたい

一、対ソ交渉にあたって超党派的支持を得ることができると考えるか

一、ソ連が日本の世論を乱し、自由諸国家との協力関係を粉砕するような提案をした場合どう対処するか

一、諸懸案解決が平和条約締結の前提条件なのか

一、外交権を有する共産国使節の入国後における日本国内措置に十分の自信があるか

鳩山首相 外交の基本は自由国家群と協力関係を推進することにあるが、同時にソ連とも国際関係を正常化したい、対ソ交渉方針は領土、引揚問題など戦争の結果生じた事件を片付けるとともに国交を正常化することは当然で、このような態度で交渉したい

重光外相 ソ連と戦争状態を止めて平和の回復を図りたいとの主旨から重要懸案の解決に全力を尽す

大麻国務相 ソ連の外交官が日本に駐在しても国内の治安に大きな…

…ンと千島、南樺太…ているが、日本の…張することは少し…

外相 一、ソ連と…ンフランシスコ条…のとなることは…

一、平和条約の…ルマ方式は賠償…ソ連とは賠償問題…いのでビルマ方式…はできないと思う

衆院予算委員会

衆院予算委員会は…時開会、本予算…間を再開、滝井…弘吉(自)両氏…った

明治以来、すべてイミテーションで行く…ション根性が丸出しでウンザリする。政…い。(良)

【写真は坂田昌一…】

イミテーション日本

粋人酔筆

吉田機司

桶伏

市況 閑散低調

世相風誌

民衆の敵

内外抄

青春無宿 (18)

大林清 作 下高原健二 画

銀座の奇蹟(十一)

馬に惹かれて競馬場通い

女性ファン氣質を探る

〝競馬の祭典〟第廿二回日本ダービーは、廿九日府中の東京競馬場で満都の関心を集めて開かれる、ダービーに限らず、競馬といえばのるかそるかのギャンブル意識にかられやすいが近ごろその競馬ファンに女性の姿が目立って多くなってきている、ということは、競馬が大衆的になってきたという以上に、その興味、スリル、雰囲気が女性の心理に溶け込みやすくなったというわけでもあろう、それをなぜ？というなら、やはり〝時代の然らしむるところ〟と答えるより他にないが、しかし競馬と女性ファンの関係現象は、時代が時代なればこそ今後も増える傾向にあるそうだ、馬にひかれて競馬場通い…その女性心理を、ダービー開幕にさきがけてひもといてみる

〝興奮〟と〝スリル〟に追込むスタート直後

〝男性的〟に胸のときめき　〝下手な男よりはマシだ〟　性的衝動にも繋がる

風を切り砂塵を巻いて、ホーム・ストレッチの追込み、観衆も殺気立つなら、馬も騎手も満身汗に濡れて最後の力をふりしぼる、馬蹄の轟き、鞭のうなり、喚声の波立ち

この騒然たる一瞬に、馬は生涯の栄誉を賭け、人はなけなしの財布の運命を賭ける、それが競馬の醍醐味であるというなら、余りに激しくキワどい醍醐味であろう、爪先き立つ観衆の姿を、静かにながめてみると、たしかに顔面神経が筋立って異常なまでの表情に作り変えている、千差万態、その週りだ、顔の詮索などどうでもいゝが そのなかでも女性の表情はもっとすさまじい、心理学的にも女性の感情は抑制しにくいものということになっているから、こうした興奮の場面に立ち至ると、本能的なヒステリック性を発揮するわけであろう、レスリングや相撲にも女性ファンは多いが、競馬、競輪となると、そのファン心理にもっと切実味が加わってくる、人気の焦点ダービーにおいては、さらに複雑だ

中央競馬会（旧国営）の話では競馬に女性ファンが目立つようになったのは廿六、七年あたりから―つまり、デフレの風が漸くきびしくなり始めたころからだそうだ、それ以前は、まァ見かけても同伴組、はっきりいって会社重役と二号さんのおしのびタイプが多かった、なぜこうした同伴組がみられたかについては、興奮即ち性的衝動につながるからさ…とズバリ明快ホルモン学的な説が行われているがそれはともかく、最近では大競馬となると観衆の一割前後が女性、ダービーではほぼ二割を占めるという、それも同伴組どころでなく、家族連れからグループに至るまで実に華やかなもの

嫉妬半分が病みつきに

ある料理屋の女将で、競馬となると家業をなげうっても飛び出すというファンがいる、死んだ亭主が競馬好きで、さんざん苦労させられたから「好きで一緒になった私を乗換えたほどの競馬とは、一体どんなものだろう」と、嫉妬半ばで見に行ったのが病みつき、トタンに亭主以上のファンになって「こんな面白いものならもっと楽しませて死なせるんだった」と、命日には亭主の分まで馬券を買うのだそうだ、それが奇妙にアナを稼いで「やはりウチの人は冥土へ行っても私を思っていてくれる」と妙なところでニンマリ笑う、彼女の場合は特別な心理であろうけれど、大体競馬が女性に好かれる〝ソモ〳〵〟は「みていて気持がいゝ」の一語に尽きるようだ、この〝気持〟には「男性的で胸がワクワクする」「パッと気分を発散できるから」「競輪のようにザワめかないし、雰囲気がいゝ」というように、さまざまな要素を含んでいる、結局、オープン・スポーツの一つとして漸く理解されてきたのでしょう―とはこれも中央競馬会の話だが、なかには「下手な男をみているより、スマートな馬をみている方がまだマシだ」と、男性失望から競馬ファンに転じたのもいるそうだ

本家の英国ダービー（ロンドン・エプサム競馬場）は、女王はじめ王室一家が臨席して大社交場となるほど礼儀正しく、きらびやかなものだが、日本ダービーはまだそこまではいかない、しかし、中山、府中あたりになると設備よし、景色よし、芝生は美しいしとあって、家族連れのピクニック、アベックのランデブー場所として、その真価？を認められてきた、かくて、女性ファンは次第に増えつつあるわけだが、一昨年の府中レースでは日本橋Tデパートが抜け目なく〝ファッション・ショウ〟を催し、レースとレースの間に観覧席前で「こんなのいかゞ」とやって、女性の着たい買いたい心理がかえって馬券の売上を高めた、こうなると女性の競馬心理たるもの、ます〳〵微妙にならざるを得ない

カンで買う馬券　高いアナ的中率　外れたら青菜に塩の態

女性の馬券の買い方は「十人十色」である、男と違ってそこはそれ、まず家計のやりくりを第一に考えるから、ミミッチいし、打ち込めないつくり考え込む、というより買おうか買うまいか思い惑ってる、やがて、これ―と決めれば、実にあっさり予想表も何も見向きしないで窓口に一直線、こんなときのレースはかえって男の方が考え込んでいるそうだ「だから、女の人は割りにアナを当てる率がいゝんです、カンがいゝというのか、雑念がないというのか、よく驚かされますね、しかしダービーとなるとそうノンビリしていません、もう前々から思い決めた馬がいるわけですからね、思い込んだら命がけ、その通りですよ、馬見場から馬場までついてきて、大変な打ち込みようです、そのかわり、外れたら女の人の姿ほどみじめなものはありませんな、ガックリという格好じゃありません、悲嘆傷心というかたち―」これは、女性ファンをよく眺めている中央競馬会のある係の話

今度のダービーでは吉川英治氏の〝ケゴン〟が優勝確実といわれている、同じ大衆作家で吉屋信子女史の〝イチモンジ〟も対抗馬の一つにあげられている、不思議で当り前のようだが、女性ファンは、やはり〝イチモンジ〟に応援が多い、まさか馬にファン・レターを出すわけにもいくまいから、厩舎に人参を運んだりの風景はありませんか…ときいてみると「たまにはありますな」と係では苦笑していた

脱獄防止の新手　織井いずる
「シヤバへ逃げればそういう本は讀めんゾ」

スミ描き 横 相自由 なるべく時事を織り込んだもの 本社編集局「マンガ係」宛 裏面に住所氏名及び職名を明記のこと 採用の分には薄謝を差上げます

女相撲の土俵　海老塚節

事故続出　安楽博光
「エー、ヤケド、打身の薬ノ」

ピンクッション　江沢ユージロー

悪書追放余聞　さかま四郎
「えッ発禁本ですって！羨ましい…」

モダン歳々記　昔男の業平

元慶四年五月廿八日、六歌仙の一人で平安朝の代表的粋人在五中将在原業平が五十五歳で没した。業平は人皇第五十一代平城天皇の皇子阿保親王の五人の子供のうちの末子で、次男には中納言在原行平という弟に劣らぬ色道の達人もいた。だから「道楽な子を 阿保親王は一人もち」ということになる。

業平は幼年時代に紀有常の娘と「井戸端で小癪な子供く〳〵とき初め」である。その幼な馴染みを女房にしたが「色事にかけてはまめな男なり」といわれた彼は河内国高安の里に女を作り、夜毎に山を越しててかけた。それで女房のよんだ歌に因んで「夜半にや女房ひとり寝て腹を立て」ともいわれた。藤原長良の娘で後に清和天皇の皇后になった二条の后を背負い、芥川のほとりまで逃げた話は江戸っ子好みの物語だ。「烏帽子着て築地の穴を四つん這い」「お尻を撫でてちゃァ嫌よと芥川」だ。

和製カザノヴァの業平の行状記は「伊勢物語」で知られるが「五畿内をしつくし東下りなり」とは流石にスケールが大きく「業平はついに口説いたことはなし」という果報者で、色男の代表者だったのである。（鮭）

風流世界譚（フランス）

パリのある女医さんのところへ、一人の青年が診察を乞いにきました。「どうされました？」「どうも自分でも判らないんですが、体具合がおかしいんデ…」「食欲は？」「普通」「あそう、熱もないです」「ハイ」「では胸を出して下さい」ひと通りみおわったが何の異状もみとめられなかったので「あなた、恋をしてるでしょう？」女医先生、図星のつもりでそういうと「恋の病いだなんて、冗談じゃない、僕には女の子なんて一人もありませんよ」「ホホホ…そう、では、一体どこが、どう悪いのですネ？」それには答えず青年、ズボン、シャツをかなぐりすてると、傍らの診察ベッドへ飛びこんでしまいました 女医さんと看護婦たちが驅けより「ど、どうしたの？」シーツで隠した顔をのぞきこむと「また病気がおきてきました。先生、早く何とかして下さい」「へんな人ね？」呆ッ気にとられていると「僕はね、女の人を見ると、もう昼間のうちから寝たくなる病気なんです…」

あすの運勢　高島象山　＝五月廿八日＝

▲一月生―彼れよ是れよと気迷い起りて自ら失敗を招来し易い注意
▲二月生―苦労困難が起り進退に窮することあり内外共に警戒要す
▲三月生―光明に輝き運気隆盛に至り利達栄昌あり開業結婚移転吉
▲四月生―気分に倶りが来て無理を押し和を缺き失敗を招き易い日
▲五月生―慢心の行為が禍いし自尊心が邪魔となり失敗を招き易い
▲六月生―前日に引き続いて幸運栄昌の日で万事によし開業結婚吉
▲七月生―気運低調にして気迷い或は他人の甘言に乗り失敗有易い
▲八月生―不意の出来事に驚き失敗あり病気けが不幸不和あり易い
▲九月生―人気と信用の高まり商取引き有利に繁昌の日開業造作吉
▲十月生―稼業無事平穏の日なるも兎角内外世話事ありて損有る也
▲十一月生―男は外出先きで間違い起り婦人は社交的迷惑あるなり
▲十二月生―稼業栄達ありて利達栄昌あり官公吏に上位の引立あり

浪人街道（169）　木村荘十　野口昂明画

旅の空（九）

不動の丹次を訪ねるときいて、猫のようにおとなしくなった獺墨の現金さ。

二人は、美代吉が丹次の家も近いと聞いて、一たん宿をとるのだというと、

「姐さん、ここまで来て宿をとるこたァありません。この辺の宿より、親分の家の方がどんなに、いいか分りゃァしません。ろくな宿はありゃァしませんからね」

美代吉は、初対面の丹次に、泊めて貰おうなどとは思ってもいなかったが、そんな成行きでいきなり丹次の家を訪ねた。

丹次の子分が、この美しい客にまごつきながら訊いた。

「えー、どういう御用で御座いましょう」

「江戸から参りましたが、ちょっと親分に内々で申上げたいことがございまして」

丹次はそれを聞くと、首をかしげていたが、

「江戸からじゃァ大変だ。とに角お通しして、ちょっと待って貰え」

といった。

美代吉を待たせて、着換えをしていると、隙見をして来た女房のおきくが、

「お前さん、なんだって着替えなんかするのさ。フン、着替えをする前にお風呂へでも入って来たらどうだね。フン」

と、ふくれている。

「何だ。どうしたんだ」

「どうしたんじゃァないよ。フン、江戸じゃァ野暮用が忙しくて、見物するひまもなかったなんて、あんな若い芸者と遊んでいたんじゃないか。見物なんか出来なかった筈だ」

「馬鹿、何を云ってやがる。俺には見当もつかねェんだ」

「白ばっくれたって駄目だよ。関係のない女が、こんな遠くまでたずねて来るかね」

「見っともねェ。手前、それでも道楽もんの女房か。やきもちもいい加減にしろ」

「見っともないのは、お前さんだよ。いい年をしてさ。あんな綺麗な女が、お前さんに迷っておっかけて来る筈はない」

「そんなら、何もいうことはねェだろう」

「あるさ、それをいい気になって、着物を着替えてめかし込んだりしてさ。うす見っともない」

「うるせえ。おいらは、江戸の者に、田舎の侠客は、親分なんていったって高の知れたもんだなどと馬鹿にされたくねェから、着替えてるんだ。いやらしい女だ。そんなに気になるなら、隣りの座敷からでも聞いていろ」

丹次は、そう云って客間へ出て来たが、江戸前の美代吉の姿に、圧倒された形で、

「これは、これは、わたしが不動の丹次ですが、どういう御用で」

と、肥った身体で重々しく坐った。

「これは、内々で御座います」

美代吉は声を殺して云おうとする。

「おっと待って下さい。わたしはそのないしょ話しというやつが苦手なんで…」

と狼狽した。

「でも、他人にきかれては困りますので…」

「困ったな、あっしは耳が遠いんでね」

不動の丹次は、その堂々たる身体のやり場に困るような顔をしてもじもじしていた。

27日（金）ラジオとテレビ

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ジヤンヴアルジヤン物語 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 受信機講座 富村正春 40 やさしい科学相島敏夫	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 私が買いましよう	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 歌・笠置 霧島ほか	00 劇「ポツポちやん」 20 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店◇相撲特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 歌の展覧会 岡本敦郎 安藤まり子 東郷たまみ	00 名曲鑑賞 交響詩「ローマの松」レスピーギ他 30 歴史の窓から「サンダルからハイヒールまで」	10 録音ニュース 20 唄ごよみ 市丸ほか 30 エンゼルタイム 有島一郎 中田康子 華声他	00 録音ニュース 10 おそろい坊主原田洋子 20 歌合戦 柳亭痴楽 坂西静夫 橋本タクミほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 中村 30 家族ゲーム 千葉信男 河井坊茶 矢野アナ
8	00 講談「生ける般若」桃川若燕 40 日本の町 渋川市（群馬県）地元連中	05 きようの国会から 20 座談会「胃潰瘍は内科の病気」黒川利雄 沢田藤一郎 島田信勝ほか	00 オルケスタテイピカ東京 歌・藤沢嵐子 30 歌のカーニバル 春日八郎 野村雪子ほか	00 歌謡学校 鶴田六郎 安田忠緒 藤村一平ほか 30 のど自慢二つの歌 阿里道子 三好一義ほか	00 東西お笑い他流試合 桂右之助 森光子ほか 30 ホームラン人生 雁玉十郎 赤木春恵ほか
9	05 ニュース解説館野守男 15 劇「鐘乳洞」三好十郎・作 名古屋章 中西清二	00 ラジオリサイタル ギリシヤ イスラエル現代音楽特集 福沢アクリヴイ 古沢淑子ほか	10 こだまは歌う 東京キユーバン・ボーイズ 30 トニー劇場「俺の鉛筆は素早い」トニー谷ほか	00 歌謡曲 鈴木三重子 真木不二夫 菅原ツヅ子 30 ❶漫才 ひろし・まり❷落語「てんしき」円歌	00 浪曲玉手箱「流れ雲・風の巻」春日井おかめ 30 ❶歌謡浪曲 大津お万❷落語「猫と金魚」円蔵
10	15 おかめ八目 荒垣秀雄 臼井吉見 中屋健一 40 音楽の花束	00 ❶初級国語 島山榛名❷上級解析（Ⅱ）山崎三郎 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 人物合せ鏡水野成夫他 30 ミユジツクアラベスク	00 大学受験春期基礎講座 和文英訳 J・Bハリス 30 解析（Ⅱ）戸田清	00 劇「南無三宝」小沢栄他 35 商売繁昌 永瀬実ほか 50 競馬随想 武田文吾他
11	10 世界をつなぐ 20 子供の詩 竹中郁	05 実地診療上注意すべき点 太田敬三 浅野秀二	10 安楽椅子 河原崎長十郎 千田是也ほか	00 釣り便り◇斬り捨て御免「国鉄一家」大宅壮一	10 座談会「イギリス総選挙の意味」島田巽ほか

テレビ

★NHK★ ◆6・00 劇「ビルマのたて琴」西村晃 織田政雄ほか ◆6・30 石ケンの科学 佐多直康◆7・10 映画「花咲く家族」監督・千葉泰樹 若原雅夫 折原啓子 小林桂樹ほか◆9・15 ニュースの焦点

★NTV★ ◆6・00 どんぐり日記 小鳩くるみほか◆6・15 暗室の仕事 町田正己ほか◆6・35 漫劇「陽気な姉系図」突破ほか◆7・30 シルエツト・クイズ 今泉良夫ほか◆8・00 映画「国定忠治」辰巳柳太郎ほか

★KR★ ◆6・00 童話「わが家の夢」外野村晋ほか◆6・30 短編映画 ◆7・00 映画「わが故郷の町」◆7・30 喜多村緑郎アルバム 夢声ほか◆8・30 中村メイコ・ショウ 千葉信男ほか◆9・25 シネマ案内

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問清水谷恭順 8・05 カンポーリの提琴 8・30 お洒落今昔伊東茂平 9・15 家計簿相談稲葉ナミ 10・05 けさの話題 三神茂 11・15 朗読「曼陀羅」	8・00 療養文芸 井上康文 8・30 大作曲家の時間 9・15 ラジオ国語音楽教室 10・30 音楽の旅 百瀬三郎 11・00 観察ノート蝶の一生 11・45 学校新聞の在り方	8・20 ラジオ・スケツチ 9・45 奥様への十五分 10・10 名作アルバム「めし」 11・35 音楽のスーツケース 12・15 落語「富士詣り」夢楽 1・25 講談「大菩薩峠」如燕	8・25 劇「青春のある所」 9・15 ラジオ小説「三家庭」 10・40 劇「君ひとすじに」 11・35 連続劇「東京の人」 12・00 落語 桂右喜松ほか 12・30 神宮から慶応対明治	7・35 財界アワー 岸道三 8・10 お早ようブーちやん 8・45 お好み歌謡曲 9・00 劇「サザエさん」 10・00 やりくりチヨ子さん 10・45 若さを保つ秘訣

酒池肉林のイカサマ師

情婦13人を囲う

美人をすぐって強引押しの一手

賭博サギの二人男

子分にも舌をまく 漁色の天才横田

昨報架空会社の社長、重役、社員といつわりインチキ賭博で約一億円の荒稼ぎを働いていた「サワ師」の一味七名が碑文谷署に捕ったが、一味は何れもまきあげた現ナマで酒池肉林の豪勢な暮しをし、中でもイカサマの天才横田良雄(四〇)は何と情婦を十三人も抱えてきょうはA子、あすはB子と相手変れど主変らずの遊蕩三昧を続けていた、また賭博の前科五犯もあるテキヤ、元県議上久保守(四四)は「俺の子分達が何をするか判らねエゾ」などとすご文句を並べ立てたりして係官たちを驚かしている、サイコロ一つで一億円ももうけていた一味のうち女にもてて仕方がなかったという横田とテキヤ県議上久保の横顔を以下同署の調べから探ってみた—

横田良雄の場合

(写真)横田良雄

賭博の天才であると共に一発必中、女性にかけては名ハンターだと一味の坂口や山田が異口同音にいっている、台東区谷中初音町で大工の一人息子に生れた横田は小卒後三年ばかり駒込動坂の町工場で印刷工をしていたが、せんだんは双葉より? の不良でクビになり、転々とし昭和六年秋当時小石川を中心に勢力をもっていたテキヤ両国一家二代目狩野輪庭治の許にわらじをぬぎ盃をうけて以来、露店商見習いや関東、東北、北陸方面に祭礼があると一緒に出稼ぎに行き、賽の目渡世を続けていた

彼の博才はこの地方巡りでいよいよ磨きをかけられた、その後軍隊にとられ(同十三年)終戦はニューギニアで迎えた、戦後は再び露店商にもどり横浜の野毛山で稼いでいたが、廿七年頃金沢市に出かけた折、土地の顔役だった上久保と知り合い仲間入りしたという

＝

千葉県山武郡横芝町の自宅にいる卅八歳の妻との間には二男一女の子供があるが横田が「あの女だけは仲間にも教えなかった、すこぶるつきの美人で一寸その辺で拝める顔じゃないよ」という、十三人の情婦の中NO・1元銀座のサロン「H」にいたはる子さん(二八)＝仮名＝とのいきさつは…昨年暮小岩の時計屋斎藤さんから百万円をまきあげて卅万円を懐にした横田が中年男の魅力を発揮するニュー・スタイルで「H」に現われたのがまず二人の出会い始めで、はる子さんには当時金ばなれの悪くなった某製薬会社々長のパトロンがあったが、現ナマを懐にしている横田の強引な押しの一手にコロリとまけて間もなく店をやめ、大田区内に同棲したのち、二階建四室のアパートを買い毎月五万円のお手当をいただき女家主となっていた

横田が捕ってから彼女は一回だけ面会に現われ保官もあるほどとその美しさに驚いたというが結局は金の切れ目が何とかで、彼女を始め今日では飲み屋、バーなどを開いていた十三人の情婦が一人も訪れず「あれほど金をつぎ込んだのに—」と横田をさみしがらせているという

"スゴミ"の上久保 取調べの係官まで脅す

上久保守の場合

(写真)上久保守

—彼が賭博の味を覚えたのは廿歳の時で、それまで麻雀賭博などで数回金沢署などに捕っていたが、本格的にサイコロを握ったのは金沢一家(金沢市のテキヤ)に入ってからだった、賭博の腕と喧嘩の折見せる度胸のよさで彼はすぐ兄貴格になり、廿一年四月石川県議選に立候補した折には立派な親分株で、テキヤ、露店商などいわば組織票で当選、県議を二期つとめた、その間彼は本職の地方政治には全く知らぬ顔の半兵衛で専らインチキ肥料を作ったり、家屋の周旋業などをして稼いでいたが、横田らとイカサマ賭博グループを作ってからは自分の懐をこやすことばかり計画、視察といって上京するたびにイカサマでもうけては向島、三河島、品川の各地に囲ってある何れも水商売出身の情婦宅を訪れて遊び回っていた「俺の金で俺が遊んだんだ、文句があるか」と取調べに当って上久保はわめいたり、すご文句を並べたてたりしているが、結局金の力だけで結びついていた情婦三人が面会にこない今では、金沢市に残した妻(三四)から来た手紙を握りしめて考え込んでいる時もあるという

栄えのナイチンゲール賞

谷本、石橋両看護婦に授与さる

白衣の天使の最高の栄誉、フローレンス・ナイチンゲール章(第十五回)の授与式が、廿七日午前十時半から東京日赤本社の講堂で行われ、日本名誉総裁の皇后陛下の御手から日本中央病院副監督谷本竹野さん(六三)と、都立松沢病院の石橋ハヤさん(七五)の胸に記章が授けられた、二人の老看護婦は金銀二色の木葉型のメダルを胸にさわやかな満場の拍手の中で深く頭をたれていた

会場には秩父、高松、三笠三宮妃殿下、島津日赤社長、菰谷、河井衆参両院議長、川崎厚相、ジュネーヴ赤十字国際委員会日代表H・アングストン氏ら三百名などが参列、皇后陛下から祝福のお言葉があり、十一時過ぎ式を終えた

谷本、石橋さんの授章は去る十二日のジュネーヴ赤十字国際委員会で世界各国廿八名の中に選ばれたもので、メダルのほかに羊皮紙に書かれた賞状、ナイチンゲールの画像がこのほど到着、授与式が行われたもの【写真は谷本竹野さん(右)石橋ハヤさん(左)にナイチンゲール記章をつけられる皇后陛下＝日赤本社で】

水を浴びせ袋叩き

池袋で悪質暴力カフェー挙る

池袋署では廿六日夜豊島区池袋二の一一六三"ラ・セーヌ"＝経営者掛本くに子＝方マネジャー木村剛(三三)ボーイ武藤政雄(二一)の両名を暴行傷害現行で逮捕した、調べでは廿五日夜十二時ごろ同区池袋四の四二七会社員小林松治さん(四一)がラ・セーヌ前を通行中引っぱりこまれ、ビール二本、ツマミ一皿を出され、九千三百円を請求された、小林さんが「金がない」というや、木村、武藤らはバケツで水を浴びせ小林さんの給料一万一千円をとりあげ、居合せた付近の不良三人とともに殴る蹴るの暴行をくわえ、全身に二週間の打撲傷を負わせたもの

二死体を収容

墜落ヘリコプター発見

【仙台発】廿五日仙台市蒲生鍋沼海岸沖に墜落した米第九軍団第三(作戦)部長ウェーン・G・スプリンガー大佐ら六人搭乗のヘリコプターを捜索中の日本側トロール漁船は、廿七日午前九時四十分ごろ同海岸から約三百メートルの海岸で底曳網に機体らしいものがひっかかったので、米軍潜水夫を同地点に入れた結果、墜落ヘリコプターと確認、潜水夫によって同十時までに機内から二名(氏名不明)の死体を引きだし米軍捜査本部に収容した

踏切ではねられ即死

廿六日夜十一時四十五分ごろ大田区西六郷一の五先京浜東北線踏切りを酔って横切ろうとした横浜市西区霞下町七三一土工朴洙陽さん(三二)は上り桜木町発下十条行電車にはねられ頭を打って即死した

おゲイジュツ

東京アクセサリー ⑪

○…茶道を集大成した千利久は知恵者だった、彼は魔術師のように人をちょろまかすことがうまかった、彼は道端に落ちているような五郎八茶碗を拾ってきて「これが本当の茶碗だ」とやったり、港の船の修理場に行っては、虫食いだらけの板切れを拾ってきて丹念に磨いて飾物台を作った、そして、それを彼の"信者"たる大名どもに何千金、何万金で売りつけた、無知な成上り大名をだますのには何の苦労もなかった、もったいぶって箱書を書いてやりさえすればよかったのだ

○…それは戦乱で文化に飢えた人たちが、その反動として文化的なものを求める心理からだった、ちょうど、新興宗教がはびこるのと同じような心理からだった、そして、わかりやすくて、しかも何も判らぬところがその魅力だった—と同じようなことが、戦後の社会にも行われた、驚くべき出版ブームに次いで新興宗教ブーム、つゞいて"おゲイジュツ・ブーム"が出現した

○…マチス、ピカソ、ルオーが風靡したのは素人目に度胆を抜くものがあって、しかも、全くわからないところがあるからだろう、コケおどしのイサム・ノグチの作品も、模型が日本の古い時代にあったと知っては、われ劣らじと前衛美術にはせ参じたのも無理はない、かくて、新宿のアクセサリー、グリーン・ベルトにご覧のような木の根ッこのお化けが出現した、だが、ふりかえってみる人とてないのはどうしたわけか

○…ようやく考えついたのはピカソにはフランスの大家、ノグチにはヨネ・ノグチの倅、二百貫のクヌギと二百四十枚の瓦を使った作品には「小原流家元」の看板があった、つまり利久の箱書めいた"看板"がなければ木の根ッこはただの木の根ッこにすぎないのだ、さてもお芸術ブームも底が浅いというわけか【写真はグリーン・ベルトのアクセサリー】

エムさん　石川進介　175

また ご夫婦ゲンカね

あーくやしい

すみません！

まあ！けがさして！赤チンつけて上げるわ

オイッ！よくもやったな

なにさ

リターンマッチだー！

54億円 ポン窟の黒幕逮捕

警視庁覚醒剤特別捜査班では、さきに戦後最大のヒロポンの原末密造団の一味九名を検挙したが、この一味に資金を流し密造させていた黒幕、大阪市生野区中川町二の一三無職吉川利光こと梁海竜(三三)を廿七日午前八時半目黒区下目黒三丁目路上で覚醒剤取締法違反容疑で逮捕した

調べでは梁は先月末逮捕された五十四億円にのぼるヒロポンの原末密造団の主犯、世田谷区代田二の七二〇斎藤為之助(五三)に資金を出し密造させ、昨年三月ごろから本年一月までに約七百㌔(二億八千万CC分)を一㌔二万円で買い上げ、約十万円でポン密造者に売りさばいていたなお梁は昨年十一月本所署に捕った康枝玉や、大門一家の密造団にも資金を出してヒロポンの原末を造らせていたとみられ、大阪市警からも指名手配になっていたもので、全国的に資金を出していた密造団の大黒幕とみられている

ダービー出走馬決る

廿九日東京競馬第四日目に行われる第廿二回日本ダービーの出走馬が廿七日次の通り決定、中央競馬会から発表された、このレースの馬券は前日から場外および場内で単、複、連が発売される

枠	馬番	馬名	斤量	騎手
①	1	ケンチカラ	57	蛯名
	2	ヨシフサ	57	渡辺正
	3	キングアロー	57	小林稔
	4	ミスアスター	55	工藤
②	5	サクタカ	57	野平祐
	6	スサカホマレ	57	梶
	7	イチモンジ	57	高橋英
	8	ヒデホマレ	57	伊藤英
③	9	ホウシユウホマレ	57	上田
	10	ナンシーシャイン	57	坂本
	11	ダイナナカツフジ	57	清田
	12	ハマノミノル	57	藤本勝
④	13	ダイイチヒガシヤマ	57	岩下
	14	カイザン	57	熊坂
	15	ナスノモア	57	山本
	16	ウゲツ	57	保田
⑤	17	マサハタ	57	石毛
	18	トシタカ	57	古山
	19	オールマイティ	57	斎藤義
	20	ケゴン	57	野平好
⑥	21	オートキツ	57	二本柳
	22	ヒシタカ	57	小野
	23	アマクニ	57	高松
	24	カミサカエ	57	八木沢
	25	オンワード	57	佐藤勇

出走馬多く激戦の優駿牝馬

【東京三日目】

あすは四歳の牝馬が女王の座を争う優駿牝馬レースが行われる、争覇圏と目される馬は大体数頭だが出走馬が、廿頭を越すので或いは意外の波乱を生まぬとも限らない

△アラブ四歳特別(第九—千八百米) アルビオンは初日ダイサンフクデンの後塵を拝したが、今度は距離も二百米長いしこゝでは勝てよう、二次のステークスでフミハルはアルビオンを鼻の差ながら破っているので、この馬からのねらいもあるが、レース展開如何によってはイチイチフジが惑星だし、良化したダイサンフクデンも要注意馬、アルビオン、フミハル、ダイサンフクデンの順、穴イチイチフジ

△優駿牝馬(第九—二千四百米) ダイトオーが初日ダービー候補と目されるダイナナカツフジ、ダイイチヒガシヤマを破った点、末脚もよいので、この馬こそ中心的存在と思うが、ヒロイチが二次の六日目オーセイ、ハツワカを問題にしなかった脚色も堂々たるものだった、又こゝの初日キヨウヒメもヒロイチと同タイムでトウセイ以下を破っている、こう考えて来ると三馬の力量は伯仲ともいってよいが、上りタイムはヒロイチが最もよく、これがダイトオーの対抗馬、しかしハクレイもよくなっているのでこの馬も軽視出来ない、ダイトオー、ヒロイチ、ハクレイの順、穴キヨウヒメ

△一般レース予想 ❶ノーブルフラッグ、オアシス、テッセカイの順、穴ギンカゼ❷サスケハナ、フリスコダウ、トウセイの順、穴コザックオー❸アサゴー、ハナチヨダの順、穴イチカワ❹ダイキリシマ、ラントウ、テツカンロの順、穴サトヒカリ❺ダルタニヤン、ギオンセイア、クキンスワローの順、穴イッコク❻タカオー、クリチカラ、タカツキの順、穴セルテート❼パノーブ、コンチエンス、リツツフオラの順、穴グランドトーキー❽ダイレイザン、ビーム、スピアムーンの順、穴ミスカシヨウ⑪カツモア、サンウエイブ、ブレイジングサンの順、穴ツルギカゼ (松本)

菖蒲にふり袖を写す会

○…「だらりの帯の祇園の舞妓さんと菖蒲を撮す会」というのが廿七日午前十時半から堀切の菖蒲園で行われた、これは菖蒲園が菖蒲シーズンの開幕に大いにお客さんを誘致しようという戦術で、京都から可憐な舞妓さん三人呼びよせて、カメラ・ファンやら物好き人種やらを集めようという寸法

○…期間も廿七、八、九の三日間で午前、午後各二時間、会費は入園料、茶菓代を含めて三百円というが、早くも二、三百人のアマチュア・カメラマンが押しかけた肝心の菖蒲は二分咲とあってバックはもっぱら橋の上とか柳の下、「石に腰かけて…」とうるさい注文に舞妓ハンはすっかりグロッキーになっていた【写真は堀切菖蒲園の舞妓さんを撮す会】

強盗、親子四人を殺す

【大阪発】廿七日未明宝塚市切畑字長山尾一の二五農業神田孝さん(三八)方へ強盗が侵入、孝さんを鈍器様のもので撲殺、妻のぶ子さん(三九)長男英穂ちゃん(五つ)次男利穂ちゃん(六つ)の三名を絞殺して逃走した、兵庫県警察本部から森田刑事部長、中谷強力犯係長らが午前十時過ぎ現場に到着、ただちに捜査を開始した

高輪に服毒心中

結婚を反対され、女は死亡

廿六日夜七時ごろ港区芳高輪南町一七ホテル品川＝経営者石倉常吉さん＝方に前夜から宿泊していた若い男女がネコイラズを飲み苦しんでいるのを女中が発見、付近の中央病院に収容したが廿七日朝七時ごろ女は死亡し男は一命をとりとめた、高輪署の調べによると男は品川区南品川四の三〇〇日栄証券社員木村正之君、女は台東区千束町一の二〇学生西方恵子さん(二二)で遺書によると両親に結婚を反対され数日前に家出していたが前途を悲観したものらしい

新宿で変電室焼く

廿七日午前零時ごろ新宿区柏木四の七三八東京鉄道局東中野変電所(区長向江貞三氏)変電室の油入遮断機の扉から出火、同室二坪を全焼して間もなく鎮火した、淀橋署で原因調査中

迷路ガイド

解答 田中和子

まず過去の償いを

上京前の腐れ縁に神経衰弱の青年

問 単身上京、都内某予備校に通っている者ですが、先日高校時代に交際していたT子から「あなたという人はずいぶん酷い人ですね、わたしの貞操を奪いながら住所も何も知らせずに上京されて…しかしわたしもアプレです、過去のことはとやかくいいません、たゞその代償として毎月二千円送って下さい、云々」の手紙が来ました、ぼくは彼女にたいして責任を感じていますが、彼女の男関係はぼくだけでなく、ぼくの住所を知らせた者とも交際しているようです、また代償として二千円送れといわれても、くに元から一万円しか送ってもらえないのでとてもできません、どうして彼女なんかと関係をしたかとつくづく後悔しています、また母に告げられたらと思うし、勉強どころか神経衰弱になりそうです、どんな手段をとることが最も望ましいかお教え下さい (豊島・K生)

答 あなたは何のために予備校に通ってまで大学に進もうとするのですか、あなたがどんなに学問ができたところで、現在のあなたでは大学教育を受ける資格はありません、一片の真心も一片の情熱もなく、反省すら知らないあなたが、大学教育を卒えて社会に出たところで、社会に何のプラスになるでしょう

あなたはすぐに故郷に帰り、すべての事情をご両親にはなし、解決方法を相手方と協議してもらい、償いをするべきです、そしてあなたの無節操な精神を晴耕雨読の修業で改め、どんな些細なことを行うにあたっても熱と誠をもってぶつかり、すべての行動に責任を持ち得たならば、はじめて大学教育を受けるに値しましょう

世の中はあなたや、相手のT子さんのように「アプレだから」といってあなた方を許すような甘いものではありません、いまから厳しい生活にも負けないだけの強い精神を養っておくべきです

あすのスポーツ

△プロ野球 トンボ対大映(七時、川崎)巨人対阪神(七時、後楽園)国鉄対広島(三時、千葉) △六大学リーグ 慶大対明大、早大対立大(零時半、神宮) △六大学バレーボール(一時、日大) 関東女子(二時、お茶の水女子大) △レスリング 関学リーグ(一時、青山) △関東実業団バスケットボール(一時半、日体) △ボクシング 佐々木対戸塚十回戦(五時半、神奈川) △女子野球(一時、東生) △競馬 浦和(零時) 東京(十一時) △大相撲 夏場所十四日目(九時、蔵前)

夏場所十四日目取組

(西)	(東)
羽咋山	森ノ里
福ノ海	鶴波
秀錦	二所錦
松恵山	大土嵜
神雷	二豊山
松井	東海
鶴美山	大竜
小野錦	平鹿川
前ケ潮	太刀風
増巳山	筑後山
玉風	常錦
八染	鯉ノ勢
七ツ海	岩風
大田山	那智山
豊ノ花	伊勢錦
神生山	鬼竜川
出羽花	起雲山
前ノ山	時錦
白雄山	剣竜
楯甲	吉井山
＝中入り＝	
秀湊	大瀬川
若羽黒	福ノ里
泉洋	平ノ戸
広瀬川	大晃
清恵波	緋縅
大蛇潟	白竜山
潮錦	清水川
国登	北ノ洋
宮錦	成山
大昇	桜国
星甲	若瀬川
二瀬山	常ノ山
神錦	出羽錦
双ツ竜	芳野嶺
島錦	大天竜
栃光	若前田
玉ノ海	出羽湊
若ノ海	羽島山
大起	若葉山
安念山	鳴門海
信夫山	朝潮
時津山	松登
若ノ花	鶴ケ嶺
三根山	琴ケ浜
大内山	千代山
栃錦	鏡里

あすの好取組二番

▽時津山—松登＝左の相四つだが、立合いのぶつかりがみもの、時津山元気にまかせ低く立ち、松の体を起し頭をつけると勝味は六分、左四つ十分になると松ガブリ寄りに威力をみせるだろうが、勝運にのる時津山立合い負けすることはあるまい

▽栃錦—鏡里＝優勝に直接ひゞく今場所の大一番、左の喧嘩四つ、栃はこれまでひっぱりこまれて深く組みきめられて苦い経験をしているから、左を浅く頭をつけて、右で脇みつをとり、かきまわしておいて出し投げにいきたいところ鏡はがっぷり右四つ、がっちりと引きつけ太鼓腹をあおって寄るほかに手がない、不安がられていた栃の立合いも日を追ってよくなっているから栃六分の利か (吉川)

大相撲 夏場所星取表

(○勝 ●負 □不戦勝 ■不戦負 や休)

デポコント

婆さん娘

「…うちの婆さんがね…」と奥さんのことをいうのがAさんの口ぐせです。

といって、Aさんはまだ五十前ですから、奥さんはもちろん四十三四、女ざかりをちょっとすぎたところ、まだまだお婆さんなどという年頃ではありません。

奥さん、いつもシャクにさわって仕方がありません。そして時々…などとからかって見るのですが、そう呼ぶと、自分までほんとうにお婆さんになったようで、何とか仇うちをしてギャフンと言わしてやろうと考へておりました。

×

それにしても、奥さん近ごろ大いに気がかりなことができてきました。

肌のたるみが急にひどくなって艶もなくなり、仕事にも根がつづかず…自分でも急に年をとった感じです。

せっかく、若くなろうとあせっているのに、逆に急に老けはじめたのですから、これでは、お婆さん…といわれたって、文句のいいようがありません。

どうしたら「お婆さん」を解消させようか…といろいろ考えた結果、ようし…と、ひざをうって、例の評判の「デポ女性」を、ご主人にだまって射ち始めました。

×

一月、二月、三月…

まさか四十すぎの彼女が、廿歳の娘には若返りませんが、次第にお肌のつやもでて一見して分るほど若返ってきました。

もちろん、いろんな身体の故障も解消です。

四月、五月、半年…。

一年ぶりで逢った人など、まあ…とおどろくほど若々しさをとりかえしてきました。

三十四五歳といってもそれで通ります。夫婦生活も、このごろではすっかり奥さんの方が積極的でご主人の方がたじたじです。

おかげで、近ごろ、ご主人、じようだんにも「お婆さん」などといわなくなり、思わず「デポ女性」でご主人をまかした次第ですが、今度は逆に

「…うちの大きな娘がね…」

などとやり始めたものですから奥さん、恥しいやら嬉しいやら。

続 情炎の千代田城 (129)

岩崎栄
寺本忠雄画

交竹院（二）

満顔に朱を塗ったような重秀に、家宣は更に鋭い追い討ちを加える。

「余がこれを、うかつに裁可致した場合、何十万人の武士とその家族は、およそどのくらいの難儀を甜めるであろうの？」

「……」

返辞の出来る筈がない。

「近江！　これっ。四十両を上越す米が、廿七両、その大きな差額は、そもそもどこに消えるのであるか。何者の懐を肥やすしかけに相成って居るのか！」

重秀は但馬守の助け舟を期待し、そうっと眦から斜に視線を流してみたが、これはたゞ化石したもののように両手をつかえ、頭を下げているばかりだった。

また家宣が、

「書役のものが書き損じたことゝして置くが——この誤りの罪は大きいぞよ。たゞ恐れ入ったでは相済まぬぞ！」

厳罰に処せよ。暗にそういっているのだ。

「それから、書き改める場合、卅七両でもまだ不当である。卅九両くらいに致し置けよ。よいか！」

「へ、ッ。かしこまりましてござります」

このとき、襖の外で、あわたゞしく、

「申し上げます。申上げます」

たゞごとでない。但馬守が、

「なにごとであるか」

「たゞいま大奥からお使いにて、おそれながら鍋松君様御急病の由…」

「なんと？」

家宣が一瞬にしてまっ青になる。

「おひきつけしきりにて、お息も絶えだえにお在す由、申し越されましてございます」

「よしっ」

家宣がパッと立ち上り、袴の裾を踏みながら、あわたゞしく走り出た。

お鈴廊下を夢中で、つまづき、つまづき、お錠口までくると、そこに、常の詰め女中以外、何十人もの女中が待ちかねていた。

「熱が高いかっ。カゼか。急病か、苦しがって、息が絶えるのか、ひきつけるのか」

うわごとみたいに口走りながら、狂乱の足どりで駈ける家宣のあとを、ザァッと、色彩的な風が流れるように、女中たちも小走りでかけ続いた。

天にも地にも、かけ替えのない一粒だねの鍋松である。死んでくれるな。死なしてなるものか。ゆるしてくれ、わしがわるかった。わかってくれ、ゆるせよ鍋松！

もはや半月ばかり、右近の局や、新出侍の局と、つぎつぎに抱き寝の女に忙しく、つい鍋松を見ずに過ごしたことが、淫楽への天譴と思われ、いのちを削られる思いで愛児の病室によろけ込んだ。

「どうして、誰がこんなことにしたっ」

いきなり怒鳴りつけた。正気のさたではない。なびき伏さった草のような女中たちの頭を蹴ちらすばかりにして、鍋松の病床をのぞき込んだ。

死んな猿のように醜く痩せ枯れた、小さな顔を一目見ると、家宣は泣き声をふるわした。

「みなは何を致して居る。こ、これを殺す気かっ、典医っ、どうしてこんなことに致した。申せっ、おろかものめが」

玄朴という、カチ栗みたいな顔つきの、小柄でしなびた六十ばかりのお医師、ほかに三人の同僚が恐怖に硬わばった顔で、ひたいをたゞみにすりつけてしまった。

「ヒィーッ」

せつなさに、胸が破けたような左京の方の泣き声だった。

芸能グループばやり罪あり？
ゴタゴタがつきもの
とんだところへ被害のとばっちり

「にんじんくらぶ」「まどかグループ」「クレインズクラブ」などのスター・グループが華やかな脚光を浴びるにつけ、映画界はまさにスター・グループ・ブームといった観があり、群小グループの誕生もまた後をたゝない、しかしながら大スターを中心にしたものはともかくとして、中堅俳優のグループの場合にはゴタゴタも起りやすいようで、発足して半年か一年もたゝぬうちに解散するという例も多い、しかもその原因の殆どが"ゼニコ"に関係した勢力争いとあっては、このトバッチリを受け迷惑する向きも案外なところにまで及んでいる、そこでこれら"小グループの嘆き"の幾つかを拾ってみる

ラジオ、映界に活躍するためのグループとして真弓田一夫、太田恭二、春日俊二、鷲原千草、羽鳥敏子など十四名が「芸術くらぶ」を結成したのは昨年四月である、連絡事務所を虎ノ門レストラン「B」において、とにもかくにも民間放送の各種番組にこのグループは活躍した、殊にリーダー格の真弓田はニッポン放送の「スター・コンテスト」をはじめ毎週二、三本のレギュラー番組を持ち、卅分ドラマで四千円内外のギャラを取っていたから「くらぶ」へ納める三割の歩金も一ヵ月二万円近くなり事実上のリーダー・シップを握っていた、ところが副将格の太田恭二はラジオ出演も毎月一、二本といった有様であったし、肝腎な映画出演料も「足摺岬」「若い人たち」と独立プロのギャラが殆んど入らず、毎月五百円の会費すら滞りがちだったという、従ってくらぶの総会の席上でも真弓田の意見が強く、太田はますます影が薄くなっていったというが、本年一月資本金五百万円の合資会社組織になるに及び、ついに太田は一時休養という名目のもとに退団せざるを得なくなった、その間の事情を太田恭二は「みんなで協議したことで、苦しい中から約一万五千円を資金として入金した、ところが次々とこの納入金があるので、私は病欠ということにして二ヵ月ばかりくらぶを休んだわけだ、その間に総会で私は退団したことになってしまい、おまけに私の紹介した団員も同時にやめることになっていた、しかも事務所は"B"からどこかへ移してしまったので、今まで飲んだり食ったりした借金は全部残っていたのだ」という

つまりこの「芸術くらぶ」は見事真っ二つに分れたという噂の見本のようなもので、トンダ迷惑をこうむったのは五万円ばかり飲食代を貸していたレストラン「B」ということになる、もっともこれは必ず返済すると太田御の代表者皆川某氏が約束しているからまだよいのだが、三原橋の横の喫茶店「R」を根城にしていた創作協団の場合は大変だった、「R」のマダムの話によると「お店の二階に事務所があった関係で、皆さん毎日の殆んどをここで過していたのですが、伝票制にしていたのが悪かったわけで、最後の頃はこれが三万円近くになっていました、小切手を渡されたのですがこれが不渡りで結局泣き寝入りです」ということで、この協団の責任者東条某は目下東京にいないという話

また左幸子を中心に舟橋元、江見渉などの結成した「ドラマ・グループ廿一世紀」は会計担当氏がギャラの持逃げをやってポシャリ、その他にも天草四郎、勝田久などのラジオ・スターが創設した「ニュー・アーチスト・クラブ」というのがあったが、事務所ができてもしないうちに解散した、そこで発足したとたんに内部が分裂、何天草は「マドの会」を坪内美子、野々浩介などで結成するというめまぐるしさだ

このように小グループの場合は俳優達にもいろ〜の悩み嘆きがつきまとっており、彼等が何気なく芸術を語り合っている影には、知らずして世間に少なからぬ迷惑をかけたりするという一コマも秘められているわけだ

太田恭二　春日俊二　鷲原千草　羽鳥敏子　舟橋元　左幸子

まどかグループの「花ひらく」製作延期

まどかグループ自主製作第一回作「花ひらく」は新世紀映画の協力で監督藤原杉雄、主演佐田啓二、佐野周二、若山セツ子、三井弘二などグループ全員出演で五月下旬撮影を開始する予定のところ、共演の山田五十鈴が出演不可能のため製作を一ヵ月のばすことになった、なお配給は目下松竹と交渉中

ラッキー17

オディール・ヴェルソア

○…十七回目の誕生日を十七本目の出演映画の撮影中に迎え、姉を入れて十七人のお友だちから贈られたデコレーション・ケーキの上に立てられた十七本のローソクを吹き消してこれからナイフを入れようかというオディール・ヴェルソア（左）

○…彼女、最近日本でも公開された英国映画「若い恋人たち」に恋人役で出演し、大変清楚な感じを出して早くも人気が集まっているが、十七本目は「ソフィーとその罪」という作品でいまフランスはヌイー（古いお城があるので有名、そこに昔ショパンの愛人だった閨秀作家ジョルジュ・サンドが住んでいました）の撮影所で撮影中、日本の月丘姉妹みたいに二つ違いの姉も女優でマリーナ・ヴラディ（右端）というが、これは伊仏合作の大作「カザノヴァの冒険」に出演中

【写真はキーストン特約】

おしゃべり横丁

外交暗号戦
オレの言葉なら大丈夫だろう
—トニー谷

映画やぶにらみ
甘いメロドラマ
「美わしき歳月」＝（松竹）

▽…田村町にある小さな花屋を老婆（田村淑子）と孫娘（久我美子）が経営している、娘にはかつて戦死した兄があって、その中学時代の親友だったキャバレーのドラマー佐田啓二、医師の木村功、工員の織本順吉の三人はいまも仲のいゝ友だちだ、佐田は幼な馴染で子供のある未亡人（小林トシ子）を、木村は久我を、織本は木村の妹（野添ひとみ）をそれぞれ愛している、その上田村にもふとしたキッカケで同じく孤独な老紳士（小沢栄）の茶飲み友だちができる、そういういろ〜と違った環境にある善意の人々の群像を描いているが、最後はアッケなくハッピー・エンド

▽…アバン、アプレ両派の間に"戦時派"ともいうべき少数派の青年たちがいる、卅歳を中心に前後二、三年ずつの巾の狭い卅代だ自分たちを挟んだ両派のものの考え方や感じ方を少しずつは理解するが、どちらにも付けない踏ん切りの悪さ、自信のなさニヒルなところがかれらにはあるそういう"戦時派"にスポットを当ててみた脚本の狙いは面白いが結果は感傷過多の甘いメロドラマに終った感じ、脚本松山善三、演出小林正樹

▽…"戦時派"のシンには、外側のいろんなポーズにかゝからず、甘い感傷が流れているということはいえそうだが、これでは描く立場の作者たちまでがその感傷におぼれてしまっているようだ、前作「この広い空のどこかに」の佳作を出した小林監督も、こんどは脚本の甘さについ乗ってしまった感じ、総じて女性の描き方が未熟なところから、ラヴ・シーンなど妙にギコチなさをみせているが、それだけにさらっとした清潔さはある、特に目立つのは佐田のドラマーがなか〜良い味を出していることで「この広い空—」以来、彼が着実に演技力をのばして来たことは大変よろこばしい、小林はくなく凡演（達）

【写真はその一場面、佐田（左）と木村】

芝居みたまゝ
『太功記』に精進の跡
◇……前進座記念公演

☆…戦後の一時期に低迷したいきがかりも脱却して、創立廿五周年の記念公演を都心でやれるようになった精進は涙ぐましい、なお一段の不屈の努力が望ましい、まる一段を省略なしで丁寧に出した「太功記十段目」は長十郎の光秀が、夕顔棚の出からの意思の強さと、母皐月（調右衛門）の横死、息子十次郎（菊之助）の戦死により、かもし出す肉親の情の切実さは人間光秀の面目躍如としており丸みのある芳三郎の操、国太郎の初菊の可憐さとともに研究を積んだ成果が現われているが、菊之丞の久吉はやゝ重みに欠けるところがある

☆…真山青果作「西鶴置土産」は揚げ詰めにして家産をとう尽してまで妻にした吉原の遊女おきわ（しづ江）と金屋利左衛門（長十郎）が昔の遊び仲間（小三郎、菊之助、菊之丞）から同情の手を差し伸べられるが、零落の中に金力へのレジスタンスをぶちまける人間の寂しさを描き、長十郎は誇張が異って西鶴の原作に内包される人間探究を弱めているが、しづ江のねつっこい燃焼力は特筆されてよい「棒しばり」は公三郎、秀彌が皮肉なユーモアを盛りこんでいるが生硬なところもあり、小三郎の大名とともにいま一勉強というところ、廿九日まで、産経ホール（杏）

【写真は「太功記」右から長十郎、調右衛門、芳三郎、菊之助、国太郎】

はと笛

▽…ママが結婚するので大喜びの雪村いづみ廿四日に東北から帰ってきてすぐ浅草宝塚に出演する、ところが彼女、地方から帰ってきてママの顔を見たトタン、甘ったれたのか風邪をひいてしまった

▽…そこで声の調子も悪いのだがおかげで「いづみはもう声がツブレて駄目になったらしいぜ」という噂がパッと立った、これには彼女もすっかりムクレたらしく「失礼しちゃうわ、アタシの家はいま春が来ているのよ、だからポーッとして風邪をひいただけじゃないのサー、ねえ」いや人気者になるのもメンドウなことだね

【写真は雪村いづみ】

名選都々逸
石井きんざ選

晴れと曇りが天気にあれば泣くと笑うは胸にある　新宿・斎藤耕月
男ぎらいで通した意地も捨てゝ泣きたい夜もある　調布・黒作
飲んだ挙句はまゝよと許り朝が眩しい床の中　文京・木村いつ秋
世間がうるさきやうるさい程にこっちも意地から逢ってやる　伊豆・六司仙
女出入りも職人らしく短気に手を切る意地っ張り　表町・隅川堂
来るんじゃなかったあなたの居ない女同士の旅なんか　選者